

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 519

事務事業名	健全育成協議会支援事業
-------	-------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	教育委員会		
課名	社会教育課		
課長名	柳原 寅雄	内線	84-156
担当者名	上野 秀徳	内線	54-6405

基本目標		人を育むまち
政策	010304	文化の振興と生涯学習の充実
施策		青少年の健全育成
関連施策		

会計	1	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	5	青少年対策費
事業コード	030100	健全育成協議会支援事業

事業類型	5	負担金・補助金事業
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者)	健全育成協議会構成員		
意図	市内青少年の健全育成のため ①単位健全育成団体の諸活動への参加者を増やす。 ②青少年の健全育成への意識を高揚させる。		
事業概要	地域の子どもたちを地域で見守る事ができるように、ココロねっこ運動の広報活動などを行うとともに主催事業である研究大会などを開催する。 また、県民運動であるココロねっこ運動を積極的に推進し、ココロねっこパレードでも大人も子どもも一緒になって活動する。 さらに、店舗の立ち入り調査や、白ポストを設置して有害図書回収を実施し、青少年を取り巻く有害環境の浄化に努め、青少年の健全育成を推進する。		
事業期間	年度 ~ 平成 年度	実施方法	補助
根拠法令、要綱等	大村市青少年問題協議会設置条例、大村市社会教育振興費補助金交付要綱		
国・県補助事業に係る本市単独施策			

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 主催事業への参加者数	計画値	350	350	350	350	パレード、指導員研修、研究大会
		実績値	272	434	405		
		達成度	77.7%	124.0%	115.7%		
活動指標	② 啓発活動実施回数	計画値	30	30	30	30	
		実績値	29	29	29		
		達成度	96.7%	96.7%	96.7%		
成果指標	① 単位団体の活動への参加者合計数	計画値	15,600	15,600	15,600	15,600	
		実績値	17,386	15,887	17,550		
		達成度	111.4%	101.8%	112.5%		
	②	計画値					
		実績値					
		達成度	%				

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	1,852	1,758	1,883	1,801	1,900	1,900	1,900	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	1,852	1,758	1,883	1,801	1,900	1,900	1,900	
② 人件費(千円)	4,657	4,468	4,305	4,298	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.47	0.47	0.47	0.47	市内青少年の健全育成のため、健全協をとおして意識の高揚を目指す。	市内青少年の健全育成のため、健全協をとおして意識の高揚を目指す。	市内青少年の健全育成のため、健全協をとおして意識の高揚を目指す。	
時間外勤務(時間)	91	88	125	70				
嘱託等人数(人)	0.40	0.40	0.40	0.40				
フルコスト(①+②千円)	6,509	6,226	6,188	6,099				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	子どもたちを取り巻くネット上の有害情報の危険性などの理解を深めるため、メディア安全指導員が保護者や児童・生徒に講演を行った。 青少年の健全育成を願い、非行事故防止キャラバンや健全育成研究大会などの事業を実施したり、各地区校区健全協主催のイベント等へ積極的に参加するとともに、昨年に引き続き「ココロねっこパレードINおおむら」を開催し、ココロねっこ運動の啓発を行った。
事業が抱える問題・課題等	親子や世代を越えてのイベントには、多くの参加が得られているものの更に多くの子どもの参加を求める声が多い。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	将来を担う青少年を健全に育成することは、良好な家庭環境と、地域・社会の人間関係へとつながり、ひいては安定した暮らしやすい社会づくりへとつながっていく。このためこの事業の必要性は高い。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	各地区・校区健全協でそれぞれ地域にあった活動を展開しているが、国や県の運動と連動しながら活動したり、それぞれが一体となって市全体で啓発活動を行い事業効果を高めるためにも、市の関与が必要である。また、健全育成の活動のためには経費が必要であり、市からの援助なしでは運営は困難である。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	地区・校区健全協の活動にも多くの参加が得られており、市民・団体との協働でなっている。また、市健全協(連絡協議会)の副会長に女性を2名登用している。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	家庭、学校での教育のほかに、日常生活する地域の大人が、青少年の非行・事故防止、社会環境浄化活動その他活動を実施し青少年を見守ることは、健全育成の効果がある。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	最低限必要な経費を計上しており削減の余地はない。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
	14(地区・校区)の健全協は、ぎりぎりの経費で運営しているため、これ以上の減額は活動に影響を及ぼすおそれがあるため見直しは困難である。						

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	子どもの参加を求める声も多いことから、各地区校区健全協のイベント等の工夫を求めるとともに、学校、PTAなども協力して、子どもたちの地域行事への参加を呼び掛ける。 また、引き続きココロねっこ運動の普及を目指すため、各地区健全協の活動に積極的に関わるとともに、ココロねっこパレードIN大村を開催する。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	子どもたちの地域行事の参加により、大人との交流も深まる。これによりココロねっこ運動も普及し、青少年の健全な育成につながる。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。